

夏の家族・・・

季節外れですが、何の写真か分かりますか？



我が家の可愛い家族、ヤモリです。

夏には、私が台所に立つとガラスに必ず現れました。電気の明りに近づくのか、夜だけです。ちゃんと夕食を作っているのか見張っているようです。

でも最近では寒くなってきたのか、姿を見せてくれません。ちょっぴり寂しくなりましたが、また来年会える日まで待ってま～す。



投稿:野依台のメグちゃん

ミナクル通信 12月号掲載

やっぱりいた！

11/28 ミナクルの東側で、草をむしゃむしゃ食べているヌートリアを見つけたよ。かわいかったよ！



投稿:まーちゃん

野依にお城が二つあった !!



伝記によると、むかし、むかしのその又昔、群雄割拠する戦国時代（1477年～）の初頭に築造されたと推定される『お城』が野依に二つあったという。



【上地城（うえじじょう）】

1 参州渥美郡野依村（野依郷）上地。

現在の野依町字上地で、JA豊橋本店の東側地区。面積4311坪。当初の城主は「村上五四郎」。この人、周辺7ヶ村（野依村、佛餉村、東植田、西植田、高塚村、伊古部村、切反ヶ谷村）より、永銭高1633貫195文嶺していた由。その後、当地が今川義元の版図となり、その幕下となった「畔田（くろだ）惣五郎」に安堵（指定管理）された。畔田惣五郎とは、梅田川流域の野依・高師方面を所領とした土豪であった。



【雉子山城（きじやまじょう）】

2 参州渥美郡佛餉村雉子山。

現在の野依町字西屋敷・畑ヶ田町雉山。イオン豊橋南店の東を流れる「浜田川」沿いの丘陵地。規模等は不詳。伝説によれば、この地方の地頭であった「富田弾正」が居城としていた。後に「畔田惣五郎」が統治するに至った。浜田川と梅田川が合流するデルタ地帯の急峻な断崖の上にあった。



「今川義元」が桶狭間で憤死（1560年）したことにより、今川勢力が著しく減退したため、畔田家も身の安全を懸念して野依の地より姿を消し、上地城・雉子山城も共に『城』としての機能は消滅した。

投稿:生まれも育ちも住まいも、野依の爺イ

ミナクル通信 1月号掲載